

提案書評価基準

1 評価事項

表 1

評価項目 (配点)	評価の着目点	配点	評価	評価の 換算式	評価点
業務実績 (30点)	マンションの防災マニュアル等への指導助言の実務経験を有するか(過去5年間)	15			
	マンション防災に関する発行物(書籍は除く)を作成、もしくは受託実績を有するか(過去5年間)	15			
提案内容 (70点)	業務内容を的確に理解しているか	20			
	実現性の高い提案であるか	20			
	先見性のある視点が入り入れられているか	20			
	取組意欲の感じられる提案であるか	10			
ワーク・ライフ・バランスに関する取組み(5点)	企業として、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいるかどうか。 <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員101人未満の場合のみ加算) <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員301人未満のみ加算) <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみんマーク、プラチナくるみんマーク)の取得 <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定(えるぼし)の取得 <input type="checkbox"/> 若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール)の取得	5			
評点の合計(105点満点)					

2 評価方法

(1) 各評価項目について、次のように評価を行う。

ア 提案者の業務実績は、A、B、C、D、Eの5段階評価及び、A、C、Eの3段階評価を行う。

イ 提案内容は、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

(2) 評価点について、次のように配点を行う。

ア 提案者の業務実績は、15点満点とし、5段階評価の場合、A=15点(15×5/5)、B=12点(15×4/5)、C=9点(15×3/5)、D=6点(15×2/5)、E=3点(15×1/5)とする。3段階評価の場合、A=15点(15×5/5)、C=9点(15×3/5)、E=3点(15×1/5)とする。

イ 提案内容は、それぞれの配点に、換算した評価（A = 5 / 5、B = 4 / 5、C = 3 / 5、D = 2 / 5、E = 1 / 5とする。）を乗じて算出する。

例えば、表1において配点20点の項目の場合

評価がAであれば評価点は $20 \times 5 / 5 = 20$ 点

評価がBであれば評価点は $20 \times 4 / 5 = 16$ 点

評価がCであれば評価点は $20 \times 3 / 5 = 12$ 点

評価がDであれば評価点は $20 \times 2 / 5 = 8$ 点

評価がEであれば評価点は $20 \times 1 / 5 = 4$ 点

ウ ワーク・ライフ・バランスに関する取組の評価については、表1の「評価の着目点」に記載した項目について1つ満たすごとに1点を加算する。

(3) ア及びイの評価項目の評価の視点は、表2のとおりとする。

(4) 評価が同点となった場合は、評価委員会に出席した委員の多数決で決し、票数が同数の場合は、委員長の決するところによる。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点	評価				
		A	B	C	D	E
業務実績	マンションの防災マニュアル等への指導助言の実務経験を有するか（過去5年間）	実務経験を10件以上有する	実務経験を8件以上有する	実務経験を6件以上有する	実務経験を4件以上有する	実務経験を2件以下である
	マンション防災に関する発行物（書籍は除く）を作成、もしくは受託実績を有するか（過去5年間）	豊富な実績（3件以上）を有する		実績（2件）を有する		実績（1件以下）が乏しい
提案内容	業務内容を的確に理解しているか	的確に理解している	理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	理解していない
	実現性の高い提案であるか	実現性が特に高い	実現性がある	どちらともいえない	実現性が低い	実現性がない
	先見性のある視点が入り込められているか	十分取り入れられている	取り入れられている	どちらともいえない	あまり取り入れられていない	取り入れられていない
	取組意欲の感じられる提案であるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない